



サイコウ sci-甲! サイエンス 甲南高校

担当：2年3組（畠中・花原）2年6組（福田・福留）

いざ！世界自然遺産の島へ！！～自然科学部奄美大島研修

8月1日（月）から8月3日（水）の3日間、自然科学部は奄美大島研修を行いました。1年生4名、2年生3名の部員が参加し、奄美大島の地理環境、動物・植物などの調査や、自然科学への知的探究心を高め、科学的な能力を培いました。今回は、その奄美大島研修の様子をお伝えします！

（1）活動の内容

〈1日目〉土盛海岸・土浜海岸で実際に海岸の様子を観察しました。また、離岸流について講義を受けたり対処法を学んだりしました。

〈2日目〉金作原原生林や湯湾

岳では、標高差による植生の違いや、亜熱帯である奄美大島の生態系を観察しました。マングローブ（淡水と海水が交ざり合う場所に生育している植物の総称）では、実際にカヌーに乗ってマングローブの近くまで行って観察を行い、潮汐に関係しない水の流れに気付くことができました。また、カヌーが楽しくて、太平洋にまで出て行きそうになった人もいました。

〈3日目〉奄美海洋展示館に行き、実際に魚や亀を観察しました。また、ソテツ群生地ではバスガイドによる説明を受けました。その後、3kmという巨大な奄美クレーターを見ました。

（2）気付いたこと・学んだこと

知らない動植物、奄美独特の生き物など、亜熱帯独特の生態系が構成されていることや、天気が非常に変わりやすいといった本土との環境の違いに気付きました。また、環境保全について、認定されたガイドがいなければ入れない場所や、植物の持ち込みが禁止されている場所があり、奄美の自然環境を守るための活動を学ぶことができました。

（3）奄美大島研修の感想

「現地に行かなければ知ることが出来なかった様々なことを学ぶことができ、充実した3日間でした。また、2年生は離岸流の研究をしているので、今回の離岸流の講義等を研究に活かしていきたいです。」

「鹿児島本土とは異なる植生や地形を実際に見ることでより詳しく知ることができました。」

「奄美での自然遺産を守るための取り組みについて知って、環境保全に対する意識が変わりました。」



クワズイモの葉。傘になりそうな大きさでした！



ガイドさん、ありがとうございました！

